

見本 (一般)

○下の見本の黒字の部分と赤字の注意を参考にして、申請者自身に関することを記入してください。
○記入した用紙自体が、公印を押されて証明書になります。

「書き間違えた場合」: 窓口職員にお申し出ください。窓口職員が修正液で修正します。その後、当事者(または代理人)が改めて記入してください。

形式 1

在留証明願

総領事館に申請する日の日付

平成2△年 ○月 ○日

在ボストン日本国総領事 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	在留 明子	生年 月日	(明・大) (昭・平)	57年 5月 6日	代理申請には委任状が必要です。 (親権者が未成年者の代理申請を行う場合を除く)
来訪者氏名 (※1)	申請者本人の場合は記入不要 在留 明夫	申請者との関係 (※1)	申請者本人の場合は記入不要 夫		
申請者の 本籍地 (※2)	東京 (都・道) (府・県)	提出先が本籍地市区町村以下の記載を求めない場合は、記入不要 杉並区方南1丁目69番地 (市区都以下を記入してください。※2)			本籍地記載には、本籍地を確認できる書類が必要です(都道府県は旅券で確認可能)
提出理由	〇〇手続き	提出先	(例えば) 遺産: 銀行 不動産登記: 東京法務局 など		

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

お住まいの自治体が、City, Town, 他のいずれかを確認して、記入してください。

現住所	日本語	アメリカ合衆国 マサチューセッツ州 レキシントン町 アトランティック通り600番 22号室	住所を確認できる書類に英文で記載されており、記入してください。
	外国語	600 Atlantic Avenue, Apt 22, Lexington, MA, U.S.A.	
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		提出先が求めない場合は、記入不要 (平成・昭和) 年 月	

総領事館職員が、「滞在期間を確認できる文書」を確認してからの記入になるので、最初は記入しないでください。

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

この線から下は、職員記入欄です。何も記入しないでください。

在留証明

証第 BV 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 年 月 日

在ボストン日本国総領事館

総領事

(手数料:)

